

平成30年6月末現在のうそ電話詐欺被害状況(暫定値)

1 認知件数及び被害金額

認知件数は35件(前年比+23件)、被害額は約1億1,740万円(前年比+約2,330万円)である。

うそ電話詐欺	振り込み詐欺 振り込み以外の特殊詐欺	平成30年6月末		前年同期比		平成29年中	
		件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
振り込み詐欺	オレオレ詐欺	6件	約 2,400 万円	+ 1件	+ 約1,430 万円	9件	約 1,310 万円
	架空請求詐欺	24件	約 6,000 万円	- 11件	+ 約1,090 万円	64件	約1億4,460 万円
	融資保証金詐欺	1件	約 0 円	- 6件	- 約1,260 万円	11件	約 1,760 万円
	還付金等詐欺	0件	約 0 円	- 4件	- 約200 万円	7件	約 550 万円
	小計	31件	約 8,400 万円	- 20件	+ 約1,060 万円	91件	約1億8,080 万円
振り込み以外の特殊詐欺	金融商品等取引名目	1件	約 1,520 円	- 6件	- 約550 万円	7件	約 2,070 万円
	ギャンブル必勝法情報提供名目	1件	約 790 円	+ 1件	+ 約790 万円	1件	約 720 万円
	異性との交際あっせん名目	2件	約 1,030 万円	+ 2件	+ 約1,030 万円	0件	約 0 円
	その他	0件	約 0 円	± 0件	± 0 円	1件	約 300 万円
	小計	4件	約 3,340 万円	- 3件	+ 約1,270 万円	9件	約 3,090 万円
合計		35件	約1億1,740 万円	- 23件	+ 約2,330 万円	100件	約2億1,170 万円

※ 被害金額は、四捨五入しているため、それぞれの額と合計が一致しないものがある。

※ オレオレ詐欺のうち2件、架空請求詐欺のうち1件は、キャッシュカード手渡し後の現金引き出し被害である。

※ 融資保証金詐欺は、自己名義のキャッシュカードを送付したものである。

【参考:過去の被害状況】

うそ電話詐欺	振り込み詐欺 振り込み以外の特殊詐欺	平成28年中		平成27年中		平成26年中	
		件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
振り込み詐欺	オレオレ詐欺	1件	約 700 万円	11件	約 5,690 万円	1件	約 250 万円
	架空請求詐欺	27件	約1億4,610 万円	26件	約1億3,820 万円	17件	約1億2,530 万円
	融資保証金詐欺	2件	約 250 万円	2件	約 100 万円	3件	約 230 万円
	還付金等詐欺	1件	約 50 万円	9件	約 470 万円	0件	約 0 円
	小計	31件	約1億5,610 万円	48件	約 2億80 万円	21件	約1億3,010 万円
振り込み以外の特殊詐欺	金融商品等取引名目	9件	約 3,870 万円	11件	約1億6,050 万円	12件	約 5,000 万円
	ギャンブル必勝法情報提供名目	2件	約 1,680 万円	1件	約 500 万円	3件	約 4,970 万円
	異性との交際あっせん名目	0件	約 0 円	0件	約 0 円	0件	約 0 万円
	その他	1件	約 500 万円	4件	約 1,070 万円	9件	約 3,770 万円
	小計	12件	約 6,050 万円	16件	約1億7,620 万円	24件	約1億3,740 万円
合計		43件	約2億1,660 万円	64件	約3億7,700 万円	45件	約2億6,750 万円

※ 被害金額は、キャッシュカード手渡し後の現金引き出し被害を含む。

2 手口の概要

手口別は、振り込み詐欺が31件(約89%)、振り込み詐欺以外の特殊詐欺が4件(11%)である。

○ オレオレ詐欺 6件

- ・息子など親族になりすまし、会社の資金補てん名目など(4件)
- ・警察官、金融庁職員などになりすまし、預金保護名目(2件)

○ 架空請求詐欺 24件

- ・有料サイト利用料金等の支払名目など(20件)
- ・流出個人情報削除騙りトラブル解決費用名目(1件)
- ・訴訟告知書に係る手続停止名目(2件)
- ・投資商品購入費用名目(書類なし)(1件)

○ 融資保証金詐欺 1件

- ・融資金振込不可と偽り入金用キャッシュカード送付指示

○ 金融商品等取引名目 1件

- ・社債購入名目(詐欺会社の書類あり)

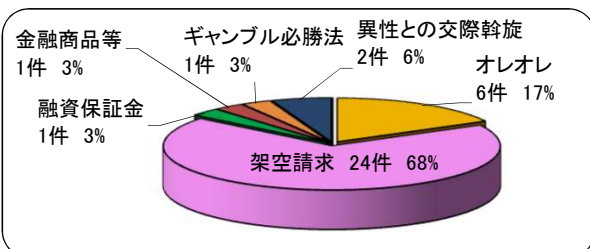
○ ギャンブル必勝法情報提供名目 1件

- ・競馬必勝法・ロト6当選番号情報提供名目

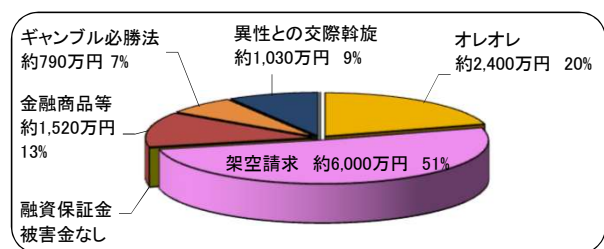
○ 異性との交際あっせん名目 2件

- ・異性交際で報酬を得られると勧誘後、保証金名目(2件)

【手口別認知件数状況】



【手口別被害額状況】



3 被害状況

(1) 年代別・男女別の認知件数

ア 年代別 ○ 65歳以上 10件(約29%)
 イ 男女別 ○ 男性 11件(約31%)

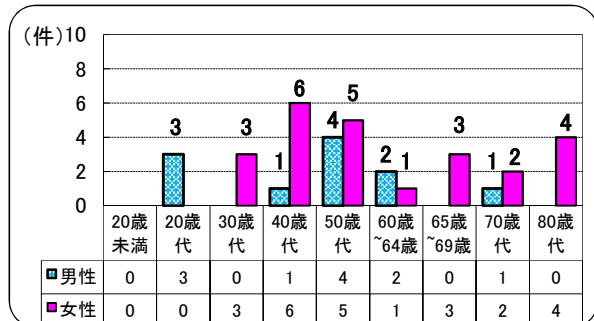
○ 65歳未満 25件(約71%)
 ○ 女性 24件(約69%)

(2) 年代別・男女別の被害金額

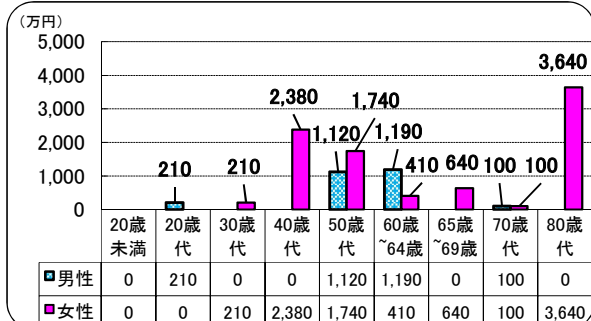
ア 年代別 ○ 65歳以上 約4,470万円(約38%)
 イ 被害金額 ○ 男性 約2,620万円(約22%)

○ 65歳未満 約7,270万円(約62%)
 ○ 女性 約9,120万円(約78%)

【年代別・男女別認知件数】



【年代別・男女別被害金額】



【参考:過去の年代別被害状況】

※ 比率は、各年の総数に対する割合である。

	65歳以上			65歳未満		
平成29年中	42件	約42%	約1億4,130万円	58件	約58%	約7,040万円
平成28年中	22件	約51%	約1億7,490万円	21件	約49%	約4,170万円
平成27年中	52件	約81%	約3億5,230万円	12件	約19%	約2,470万円
平成26年中	35件	約78%	約1億8,250万円	10件	約22%	約8,500万円

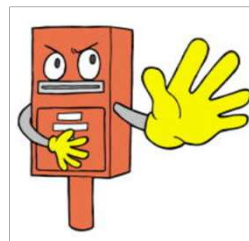
【参考:過去の男女別被害状況】

※ 比率は、各年の総数に対する割合である。

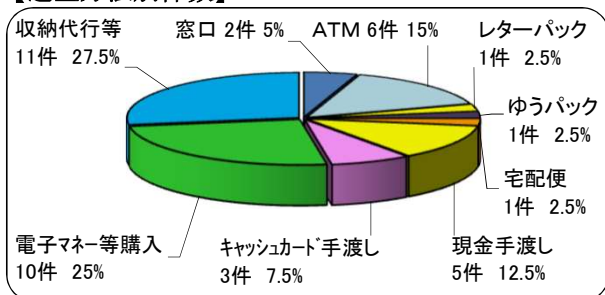
	男性			女性		
平成29年中	38件	約38%	約5,840万円	62件	約62%	約1億5,330万円
平成28年中	15件	約35%	約6,320万円	28件	約65%	約1億5,340万円
平成27年中	14件	約22%	約5,830万円	50件	約78%	約3億1,870万円
平成26年中	7件	約16%	約2,370万円	38件	約84%	約2億4,380万円

4 送金方法等 (一人の被害者が、2種類以上の送金方法等を利用した場合はそれぞれを計上している。)

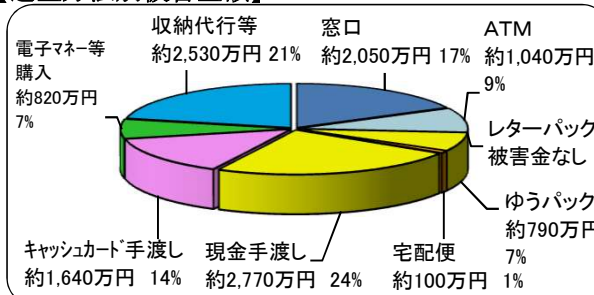
送金方法等	件数	被害金額
振込型(窓口・ATM・ネットバンク等)	8件 約20%	約3,090万円 約26%
送付型(宅配便・レターパック等)	3件 約7.5%	約890万円 約8%
現金手渡し型	5件 約12.5%	約2,770万円 約24%
キャッシュカード手渡し型	3件 約7.5%	約1,640万円 約14%
電子マネー型	10件 約25%	約820万円 約7%
収納代行型	11件 約27.5%	約2,530万円 約21%
合計	40件 100%	約11,740万円 100%



【送金方法別件数】



【送金方法別被害金額】



【参考:過去の送金方法別件数・被害金額】

送金方法等	平成29年中		平成28年中		平成27年中	
	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
振込型(窓口・ATM・ネットバンク等)	33件	約4,860万円	20件	約4,060万円	28件	約3,830万円
送付型(宅配便・レターパック等)	8件	約7,040万円	20件	約1億6,530万円	26件	約2億1,430万円
現金手渡し型	8件	約4,960万円	1件	約700万円	11件	約1億1,590万円
キャッシュカード手渡し型	7件	約380万円	0件	0円	2件	約800万円
電子マネー型	42件	約2,740万円	10件	約370万円	3件	約50万円
収納代行型(H29から統計開始)	9件	約1,190万円		統計なし		統計なし
合計	107件	約2億1,170万円	51件	約2億1,660万円	70件	約3億7,700万円

※ 一人の被害者が、2種類以上の送金方法等を利用した場合はそれぞれを計上している。